

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-207127(P2012-207127A)

【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-73726(P2011-73726)

【国際特許分類】

C 0 9 J 153/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 191/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

G 0 9 F 3/10 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 153/02

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 191/06

C 0 9 J 7/02 Z

G 0 9 F 3/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月17日(2013.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

一般式(A)において、Ar 1は重量平均分子量が10000～25000の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、Ar 2は重量平均分子量が15000～200000の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、Dは共役ジエン重合体ブロックを表し、Ar 2で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量に対するAr 1で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量の比は0.1～0.9である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

上記の一般式(A)において、Ar 1は重量平均分子量が10000～25000の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、Ar 2は重量平均分子量が15000～200000の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、Dは共役ジエン重合体ブロックを表し、Ar 2で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量に対するAr 1で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量の比は0.1～0.9である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

本発明のホットメルト粘接着剤組成物を構成するブロック共重合体 A は、上記一般式 (A) で表されるように、比較的小さい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar1)、共役ジエン重合体ブロック (D) および比較的大きい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar2) が、この順で連なって構成される非対称な芳香族ビニル - 共役ジエン - 芳香族ビニルトリブロック共重合体である。比較的小さい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar1) の重量平均分子量 ($M_w(Ar1)$) は、10000 ~ 25000 であり、11000 ~ 23000 であることが好ましく、12000 ~ 21000 であることがより好ましい。 $M_w(Ar1)$ が小さすぎると、得られるホットメルト粘接着剤組成物が保持力の低いものとなるおそれがあり、大きすぎると、ホットメルト粘接着剤組成物の溶融粘度が著しく高くなるおそれがある。また、比較的大きい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar2) の重量平均分子量 ($M_w(Ar2)$) は、15000 ~ 200000 であり、18000 ~ 150000 であることが好ましく、20000 ~ 100000 であることがより好ましい。 $M_w(Ar2)$ が小さすぎると、得られるホットメルト粘接着剤組成物が、比較的に低温での溶融粘度が高いものとなるおそれがあり、 $M_w(Ar2)$ が大きすぎるブロック共重合体 A は、製造が困難である場合がある。また、ブロック共重合体 A において、比較的大きい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar2) の重量平均分子量 ($M_w(Ar2)$) に対する、比較的小さい重量平均分子量を有する芳香族ビニル重合体ブロック (Ar1) の重量平均分子量 ($M_w(Ar1)$) の比 ($M_w(Ar1) / M_w(Ar2)$) は、0.1 ~ 0.9 であり、0.2 ~ 0.7 であることが好ましく、0.25 ~ 0.65 であることがより好ましい。 $M_w(Ar1) / M_w(Ar2)$ が小さすぎると、得られるホットメルト粘接着剤組成物が、比較的に低温での溶融粘度が高いものとなるおそれがあり、 $M_w(Ar1) / M_w(Ar2)$ が大きすぎると、得られるホットメルト粘接着剤組成物が、保持力の低いものとなるおそれがある。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 請 求 項 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 請 求 項 1 】

下記の一般式 (A) で表されるブロック共重合体 A、および芳香族ビニル重合体ブロックと共役ジエン重合体ブロックとを末端ブロックとして有してなるブロック共重合体 B からなり、ブロック共重合体 A とブロック共重合体 B との合計重量に対してブロック共重合体 A が占める割合が 5 ~ 90 重量 % であるブロック共重合体成分と、ブロック共重合体成分に対して非相溶性のワックスと、ブロック共重合体成分に対して相溶性の軟化剤と、粘着付与樹脂とを含有してなるホットメルト粘接着剤組成物。

$$Ar1 - D - Ar2 \quad (A)$$

(一般式 (A) において、Ar1 は重量平均分子量が 10000 ~ 25000 の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、Ar2 は重量平均分子量が 15000 ~ 200000 の芳香族ビニル重合体ブロックを表し、D は共役ジエン重合体ブロックを表し、Ar2 で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量に対する Ar1 で表される芳香族ビニル重合体ブロックの重量平均分子量の比は 0.1 ~ 0.9 である。)